

(単位 百万円/単位未満切捨)

区分	2022年度 事業計画	2021年度 事業計画額	
		増減(率)	
売上高	21,500	21,200	
		300 (1.4%)	
当期純利益	168	61	
		107 (174.1%)	

〔2022年度事業計画の特色・概要〕 ※事業計画における重点項目と達成に向けた施策など

■基本方針

学びで創る未来、その先へ
～“届けきる、つなげきる”教育コンテンツ専門家集団～

NHKエデュケーショナルは、1989年の創立以来、NHKの重要な使命のひとつである「教育」分野のコンテンツ制作を専門に担ってきました。子ども幼児、学校教育、美術、教養、語学、趣味、実用、科学、健康など多彩なジャンルで、Eテレを中心に、総合テレビ、衛星放送、国際放送など、年間1万本近い番組を制作しています。さらにイベントや、展覧会の展示映像、通信教育の教材など、番組を展開した多様なコンテンツを生み出し、広く提供しています。

NHKの「2022年度 収支予算と事業計画」には「新しいNHKらしさ」の実現に向けたコンテンツの強化として、「青少年、子どもの教育と健全な育成」「人生100年時代の学びを支援」「持続可能な社会、多様性を認めて共に生きる社会を実現」「人にやさしい放送・サービスの推進」が掲げられています。また2023年度の受信料値下げと衛星波1波削減に向けて、構造改革を実行し、スリムで強靱な「新しいNHK」に向けた取り組みを強化するとしています。

NHKエデュケーショナルは、NHKが掲げる「新しいNHKらしさ」の実現のために、専門分野である教育や学びに関するコンテンツの強化に全力で取り組みます。中期経営計画(2021-2023)の二年目として、いつでも、どこでも学べる「場」を提供し、広くあまねく、そして多様な方法で「学び」の機会を届け、「学びの新しいカタチ」を創ります。

NHKグループを横断した展開事業開発プロジェクトに積極的に取り組み、グループ各社の知見やノウハウとNHKエデュケーショナルが持つ専門性を融合し、新たなサービスを生み出します。また、グループ各社の『教育関連業務』の棚卸し、効果的な役割分担、業務の再構築を主導します。同様に社内の連携も強化し、新規事業開拓を加速させます。

番組の企画制作から展開事業までを一貫して担うことでコンテンツの価値を最大化するとともに、デジタルを大胆に活用して、教育関連事業やサービスの開発・拡充に取り組みます。多様で質の高いコンテンツを、合理的なコストで、最適な媒体を駆使して届けます。これらの事業を支える人材の育成にも力を入れ、「時代の変化に、素早く、しなやかに応えられる組織」へと進化します。

「中期経営計画2021-2023」に基づく重点施策・行動計画は次の通りです。

■重点施策・行動計画

(1) 放送番組や教育コンテンツの制作

- “学び”に関する専門性をさらに深め、人々の最新の知的好奇心に応える質の高い番組を制作します。
- 「新しいNHKらしさの追求」をけん引するコンテンツを、多様な専門分野を自在に組み合わせる柔軟な思考で開発します。
- デジタルを大胆に活用した「ユア・メディア」の発想で、関連団体ならではの新たな展開事業やイベントの開発を加速します。
- 多様性や持続性が尊重される社会づくりに貢献することで真価を発揮。未来を担う次世代への責任を果たします。

2022年度は特に次の取り組みを行います。

<NHK関係業務>

小中高校での新学習指導要領の実施や、「主体的・対話的で深い学び」の追求といった、教育改革や、大人の学び直しの気運を、多様な番組や事業で後押しします。「新しいNHKらしさ」を追求する新ブランド「NHKラーニング」のサービス向上に寄与します。「GIGAスクール構想」に対応したサービスにも注力し、新しい時代の学習の普及を後押しします。

最新の情報や研究に裏打ちされた新しい視点から、知的好奇心に応える番組も制作します。医学・健康情報においては、正確で信頼でき、ニーズを先取りした最新情報を丁寧に伝え、暮らしの安全と安心を支えます。

NEDが持つ多様な専門性を柔軟に組み合わせる“クロスジャンル”の発想やNHKグループ各社との連携強化により、新しいコンテンツを開発します。

SDGsへの理解や、多様性、持続性のある豊かな社会の実現に寄与するコンテンツを制作します。

<展開事業>

NHKグループ会社横断の展開事業開発プロジェクトによる新規サービスの開拓、および社内連携による新規事業開拓を加速させます。様々な事業者とのコラボレーションなどによって新時代の「個別最適な学び」を支えます。

デジタルを駆使したオンラインイベントを高度化、広範化します。SNSなどを利用した双方向性の高いオンラインイベント事業や、家族や仲間などユーザー同士の交流を深める「場」を提供し、“学び”の満足度向上を目指します。

NHKエデュケーショナルが保有する多様なコンテンツを、VODなどに展開し、コンテンツ価値の最大化を図ります。

(2) 組織や事業運営

- 「スリムで強靱な組織」を目指すNHKのグループの一員として、変化に迅速に対応できる「しなやかで、芯の強い会社」に進化します。
- 「作り方改革」により効率的な制作プロセスを開発し、「働き方改革」をさらに推進します。
- 組織のガバナンスを強化し、更なるコンプライアンスの徹底を図ります。

2022年度は、特に次の取り組みを行います。

2021年度に実施した組織改正で強化した社内連携の効果を最大限に活用し、社内グループ横断・連携による取り組みを、今後のNHKエデュケーショナルを支える新規事業・コンテンツ開発・制作につなげていきます。

また、次世代を支える若手社員の制作力強化・育成に向けた試みを継続します。若手・中堅の独自採用社員のコンテンツ制作力等の向上を目的として、NHKおよび関連制作3社(NEP・Gメ・NED)との向向・実務研修を更に進めます。社内でも「NED NEXTプロジェクト」など、全社一体となった若手育成への取り組みの充実を図っていきます。

2023年度の受信料値下げと衛星波1波削減により、NHKからの受託が減少することを想定し、必要な体制整備を進めます。

「働き方改革」を推進して、持続可能な組織を実現します。新型コロナ禍への対応で得た知見も活用し、リモートワーク、業務改革と連携したDXを推進し、効率的な業務体制を確立して、創造性を最大化します。

ガバナンスを強化し、コンプライアンスを徹底するなど、業務の適正性を確保します。